

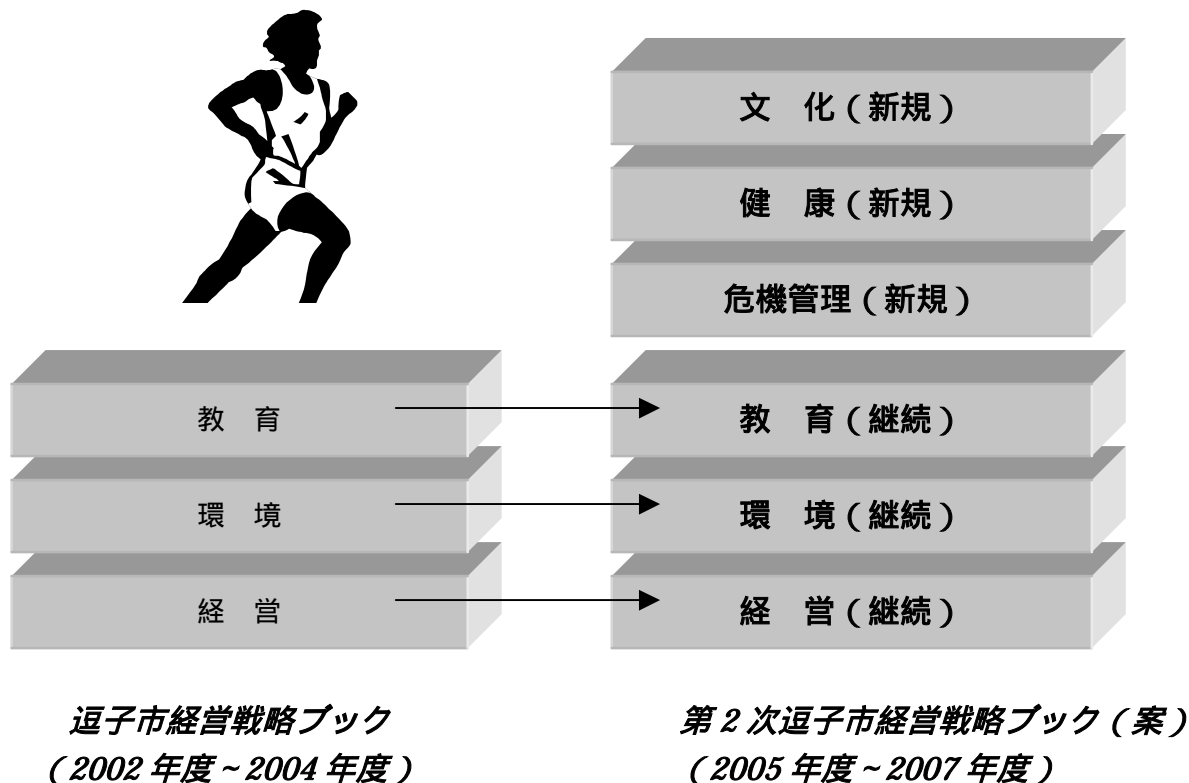
# 逗子を逗子らしく育むために ～ 第2次逗子市経営戦略ブック(素案)～

## 第2次逗子市経営戦略ブックとは

2002年度～2004年度の3年間を対象期間として、逗子市でははじめて経営戦略ブックを策定しました。このブックでは厳しい財政事情の中でも、逗子市の未来を前向きに見据え、総合計画を補完する戦略指針として「教育」、「環境」、「経営」を選択し、全部で48の項目を設定し、3年間努力してきました。

2005年度～2007年度の3年間に向けて、第2次逗子市経営戦略ブックを策定する予定です。年々厳しくなる財政事情のなか、選択と集中という戦略性に一層配慮し、今までの教育・環境・経営の3本柱をさらに継承・発展させ、新たに「文化」、「健康」、「危機管理」を加えた第2次逗子市経営戦略ブックの策定を計画しています。

この6本の柱は、逗子市にとっても、逗子市民にとっても、重要で緊急な課題であると考えており、今後3年間市民との協働を基本に積極的に取り組んでいく予定です。



## 第2次経営戦略ブックでめざすもの

### 文化（文化の薫るおしゃれなまち）

逗子市は、例えば芥川賞だけでも6人が受賞するなど、著名な文化人、芸術家に恵まれています。しかし、こうした人々の才能を地域に反映させるとい側面は、今ひとつだったと言えます。

平成17年度からオープンする「逗子文化プラザ」を拠点として、そのありかた、企画、管理運営等も市民協働を基本とし、逗子らしい文化の醸成を支援していく必要があります。

また、文化・芸術活動がもっとまちづくりに反映されるような工夫に努めるとともに、ふさわしい景観形成にも取り組んでいきます。

### 健康（一人ひとりが健やかに）

逗子市は県内で最も高齢化率が高く、医療費や介護保険などによる財政負担が大きくなっています。（平成16年度当初予算で、「医療・介護」関係の3特別会計へ、一般会計から13億2,594万円を繰出し）

そこで市としては、健全な財政運営を図るためにも、総合的病院の誘致・活用、温水プールの利用など市民の健康づくりに対するさまざまな支援策を充実させていきます。

### 危機管理（安全・安心なまち）

逗子市は犯罪の少ない安全なまちといわれてきましたが、凶悪犯罪は多くないものの犯罪自体は増えています。（逗子市の年間平均刑法犯認知件数（警察白書調）平成10年～12年：428件から平成13年～15年：778件）

そこで本市としては、警察には凶悪犯罪の捜査により専念してもらえよう、もっと行政が地域防犯に積極的に関わり、犯罪の未然防止に取り組む必要があります。

地域ぐるみの防犯活動を系統立てるとともに、特に小さい子どもたちが痛ましい事件に巻き込まれることのないような施策を推進していきます。

### 教育

前回の経営戦略ブックでも学校教育を課題とし、授業の質を高めることと、開かれた学校を戦略性のコンセプトとして努力を重ね、少人数授業や学区希望制のスタートなど、目標が達成されました。

今回の経営戦略ブックでは、野村教育長の提唱する「授業で勝負する先生」をさらに具体化させるため新しい目標を掲げ、努力していきます。特に今回は、教員の授業研修の充実と学習状況調査の実施などを重点取り組みとしていきます。

### 環境

この間、山の根3丁目の緑地保全（東京ドーム3個分）を達成しましたが、リゾートとベットタウンの要素を併せ持つ逗子市は、常に開発危機にさらされています。

今回の経営戦略ブックでも、引き続き「環境」を重要な課題とし、開発抑制に努めるとともに、市街地の景観向上等に重点的に取り組んでいきます。

### 経営

前回は「経営」を課題とし、行財政改革を推進してきました。小さな組織でも最大のサービスをめざした結果、2004年日経ランキング効率化・活性化度1位（718市中）の自治体となりました。

しかし、国の三位一体改革による4億3千万円の減収や、景気の低迷による市税収入2億円の見込み減など、本市の財政事情は文字どおり逼迫ともいえる厳しい状況にあります。

今後も、一層の行財政改革を推し進めるため、ワークシェアの推進、人件費比率のさらなる改善、事務事業の一層の見直し、職員の意識改革等に努め、生産性の向上を図ります。

【問合せ先】 逗子市 企画部 企画調整課  
〒249-8686 逗子市逗子5-2-16  
電話 046-873-1111(内線326・328)  
ファックス 046-873-4520  
E-mail kikaku@city.zushi.kanagawa.jp